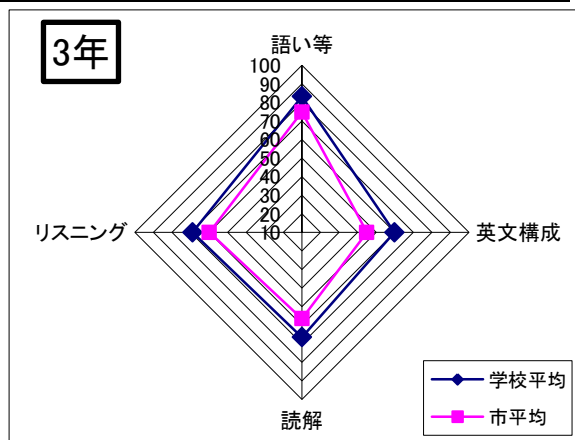
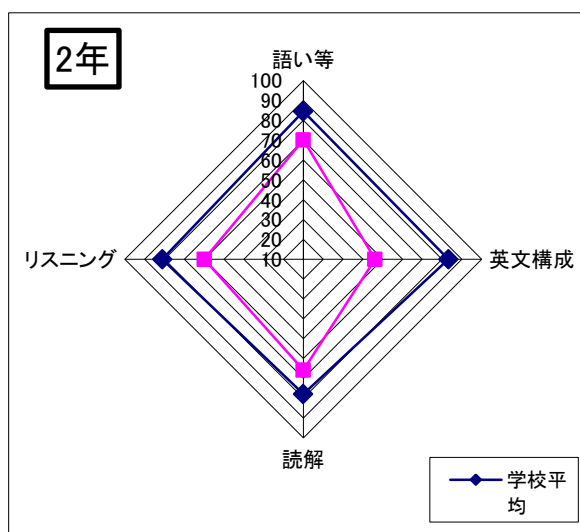


「英語能力判定テスト」結果(分野別正答率)の概要と今後の取組

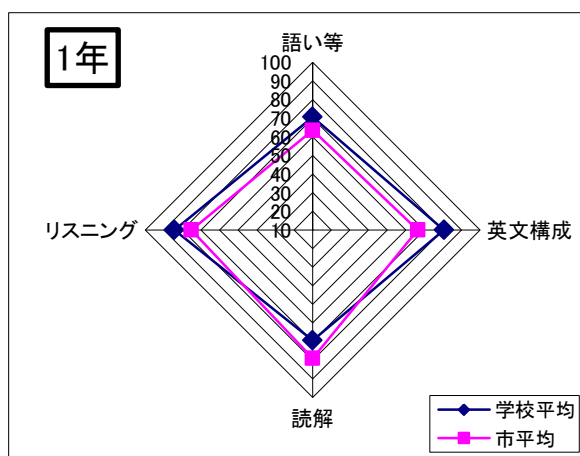
3年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	83.2	59.8	66.4	68.9
市平均	74.8	44.9	56.4	59.9



2年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	84.5	83.2	77.9	81
市平均	70.2	46.2	65.8	59.9



1年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	70.7	80.6	69.4	84.3
市平均	63.5	66.5	79	75.2



結果の概要と結果をふまえた今後の取組

※各学年において実施したテストはそれぞれ種類が異なるため、学年間の正答率を比較することはできません。

3年

英検3～5級レベル:スコア 0～460点

《結果の概要》

どの分野でも大阪市平均を上回っているが、語彙力はあるが、基本的な英文構成が苦手なようである。

《結果をふまえた今後の取組》

基本的な文法内容を復習しながら、各分野のレベルアップをはかりたい。いろいろな教材を組み入れながら、総合的な英語力の向上に努めたい。また、個々の学力に応じた教材を作成する必要がある。

2年

英検4～5級レベル:スコア 0～400点

《結果の概要》

どの分野の問題においても、バランスよく解答することができている。

《結果をふまえた今後の取組》

週1回の英語の音楽をリスニング問題として取り入れていることが、今回の結果につながったと考えられる。今後も継続していきたい。

読解問題が特に苦手な生徒が多い。ある程度まとまった量の英文に慣れるため、授業でも教科書以外の長文問題に取り組む必要がある。

1年

英検5級レベル:スコア 0～340点

《結果の概要》

すべての分野において、大阪市平均を少し上回る正答率をとることができている。

《結果をふまえた今後の取組》

満点を取った生徒も10人以上いるという喜ばしい結果が出た一方で、50点を取れない生徒が多くいることも事実である。そのような生徒に対して、基礎から何度も繰り返し教えておくことが今後の